ほけんだより

3月号

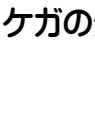
平成28年3月
神奈川大学附属中・高等学校
保健室

今年の冬は、暖冬と言われていましたが、そのことも影響したのか、インフルエンザや胃腸炎の流行がなかなか到来しませんでした。このまま、流行せずに過ぎ去ってくれればと願っていましたが、2 月に入ってから急激に罹患数が増えていきました。全体的には中学生の罹患が多いです。流行のピークは過ぎ、少しずつ終息に向かっているところと考えていますが、予防接種の効果も薄れてくる時期になりますので、もうしばらく罹患に注意が必要かと思います。基本的なことになりますが、手洗い・うがいをしっかりと行い、調子が悪いときには無理をせずに休養を取ることが大事になります。

☆1年間の保健室　利用状況☆

4/1～2/29

ケガをして保健室を利用した人 727人	具合が悪くなって保健室を利用した人 799人
多いケガの種類 1　すり傷　213人 2　打撲　145人 3　突き指　95人 4　捻挫　94人	多い病気の種類 1　感冒様症状　202人 2　頭痛　164人 3　腹痛　123人
ケガの発生時別（4月～12月） 1　不注意、事故、不明　300人 2　体育授業中　205人 3　部活中　110人	スポーツ振興センター申請件数（発生時別） 1　部活　48 2　体育　24 3　休み時間　9



平成 28 年度は2月末までで、のべ1526 人の生徒が保健室で手当てを受けました。

病気では、感冒様症状の来室が多く、熱っぽい・喉がいたい・寒気がするという訴えが多かったです。
そのうち、朝起きたときから調子が悪い、昨日から調子が悪いということも多く聞かれました。調子の悪いときは無理をせずに休養をとることも必要です。起床して体調がおもわしくないときは、熱を測り、登校を検討しましょう。ケガでは、すり傷が多かったです。来室する前に水道水で洗ってくる生徒は少ないです。すり傷ができたときは、必ず、キレイに砂や泥、小さな石を洗い流してから来室するようにしましょう。砂や小さな石を洗い流し、取り除くことが、消毒をするよりも一番効果があります。傷を早く治すためにもキレイに洗い流す習慣をつけましょう。さらに、ケガの原因としては、体育の授業中や部活中はもちろんなのですが、一番多かったのが、自らの不注意によるものでした。その中には、自宅でのケガや教室や廊下での転倒などが多くを占めています。自宅でのケガに関しては、ご自宅で処置をしていただくようにご協力をお願いいたします。
皆さんが元気に過ごしてくれることが1番です！！来年度も、みなさんが元気に学校生活を送れるように保健室から応援しています！！＋